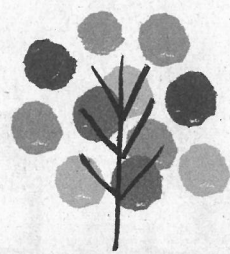


# 柳井日日新聞

発行所 柳井市金屋区 436 〒742-0022  
(株)柳井日日新聞社  
編集発行人 友座 泰  
電話 0820-22-0758  
FAX 0820-22-2775

購読料1ヶ月1,512円  
(郵送 1,620円)  
振替口座01550-3-005438  
《火・木・土曜日発行》



山口のしあわせの真ん中に。  
**果子乃季**  
—KASHINOKI—

柳井市柳井5275  
Phone(0820)22-0757

**柳井市人口・世帯数**  
(6月末現在)  
●世帯数 15,692(-11)  
●人口 31,774人  
●男性 14,838人  
●女性 16,936人  
(前月比 -22人)  
外国人 174人

## 新会

創立40周年



柳井西ロータリー(会員27人)は、任期満了に、019年から2年度の役員改選、新会長に大渡康選出した。任期、1日から来年6月の1年間。

会長指針は、和クラブ活動方針、①会員拡大(現維持しつつ、女や若い会員の促進)②親(メ)バー相互を高める③地貢献(奉仕活動で地域と密接、携を図る)④広(クラブ)の認知(める)の4点を

## 金魚ちょうちんのルーツ「弘前ねぷた」 歴史的な縁、深まる交流へ

「北前船」や「金魚ねぷた」を通じて、歴史的な縁があり、両市が互いに伝統的建造物群保存地区を有していることから、守る会では、今年2月に創立40周年記念事業で、同協会代表理事の今井二三夫氏を講師に迎えての講演会「北前船と金魚ちょうちん」をヒロサキ&ヤナイ、ソノサキへ「く」を開いたことがきっかけで、両市のPRや交流人口の増加、町並みの活性化を図ろうと、交流が始まった。

守る会では、今年「弘前ねぷたまつり」に、会員や観光協会、市職員ら総勢11人が三班に分かれ、訪問する。まつり期間中の8月1日から3日まで、NHK弘前支局ギヤラリーで「第1回金魚ちょうちんと金魚ねぷた交流会」(同協会主催)が開かれ、会場内への金魚ちょうちん装飾や柳井をPRするパネル展を行うほか、山近絹代さん(守る会副



会長による講演会も実施する。津軽の夏の夜を彩る

ねぷたまつりは、三国志や水滸伝などを題材にした勇壮で色鮮やかな武者絵が描かれた扇ねぷたや組ねぷたの大小合わせて総数約80台が、「ヤーヤド」の掛け声とともに市内を練り歩くとまつり、毎年約160万人の観光客で賑わっている。

暑さの厳しい農作業の忙しい夏期に襲ってくる睡魔を追い払うため村中一団となって様々な災い、邪悪を水に流して村の外に送り出す「農民事」から生まれたとされ、1980年に重要無形民俗文化財に指定されている。

一方、弘前金魚ねぷたは、江戸後期に津軽で飼育されていた金魚「津軽錦」を形に作られたあんどんが発祥で、まつりでは子供たちが灯籠として手に持って練り歩くという。

守る会会員の木阪泰之さん、河本昌記さんとともに市役所を訪れた三上さんは「柳井の金魚ちょうちんは、弘前では知られていないが、今年のまつりでし



柳井市の夏の祭典「第28回柳井金魚ちょうちん祭り」を前に、祭りの主役としてイベント会場に装飾される金魚ちょうちん作りが最盛期を迎えている。

作業を行っているのは、柳井広域シルバー人材センターの金魚班(本井秀夫班長)。作業は、5月のゴールデンウィーク明けから週4日(1日約6時間)、市内忠信の金魚ちょうちん工房(旧やなぎ園)で行われている。竹ひごで骨組みを作り、その上に和紙(障子紙)を張り合わせ、口ウで縁取りをして赤のボスターカラーで色付けし、最後に胸・尾びれを張り付けて完成させる。

## 祭りの主役、着々と増産

シルバー金魚班 金魚ちょうちんづくりが最盛期

柳井市の夏の祭典「第28回柳井金魚ちょうちん祭り」を前に、祭りの主役としてイベント会場に装飾される金魚ちょうちん作りが最盛期を迎えている。

作業を行っているのは、柳井広域シルバー人材センターの金魚班(本井秀夫班長)。作業は、5月のゴールデンウィーク明けから週4日(1日約6時間)、市内忠信の金魚ちょうちん工房(旧やなぎ園)で行われている。竹ひごで骨組みを作り、その上に和紙(障子紙)を張り合わせ、口ウで縁取りをして赤のボスターカラーで色付けし、最後に胸・尾びれを張り付けて完成させる。



今年度の祭りに向け、急ピッチで金魚ちょうちん製作に励むメンバーと完成したちょうちんを手にする本井班長(左)

## 柳井産業運輸が銅賞に

柳井市南町4丁目目には、田布施町麻郷に営業所を構える運送・倉庫業の柳井産業運輸(和田実社長)が、平成31年第一期優秀安全運転事業所表彰で銅賞を受賞。4日、柳井署で表彰式の伝達式があった。

この表彰は、従業員約400名(うち、点灯用は2500個)の金魚ちょうちんが、7月31日から駅通りや白壁の町並み、柳井川河川公園などに飾られ、8月3日(土)の点灯式から電飾されることになっている。

(写真は祭り本番に向け、急ピッチで金魚ちょうちん製作に励むメンバーと完成したちょうちんを手にする本井班長(左))